

マレーシアに対する第10回省エネ招聘研修（BECMY10）を開催しました

【事業概要】 一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）では、資源エネルギー庁の委託を受けて令和5年度もマレーシアとの二国間省エネ協力事業を実施しています。今年度は、新型コロナウイルスへの対応も緩和され、マスクを外しての研修受入が可能となりました。同国の政府およびその関連機関、民間企業3社から計10名を対象に、熱関連の省エネ診断研修制度の策定に向けて、9月11日から15日までの5日間、研修を実施し無事終了しました。



カントリーレポート報告



燃烧炉の実習（日鉄テクノジ-株）



模擬省エネ診断演習（2グループ）



参加者集合写真

1. 研修参加者：

- (1) マレーシア：天然資源・環境・気候変動省3名、持続可能エネルギー開発庁(SEDARA)2名、エネルギー委員会(EC)2名、パイロット事業関係の民間企業;3社から各1名、合計10名
- (2) 日本側：ECCJ 国際協力本部；7名、日鉄テクノジ-株；2名、(株)TLV；1名、その他企業；3名

2. 研修概要：

- (1) 目的：マレーシアで新たに制度化される省エネ法に関連して熱分野での「エネルギー診断士研修制度」の関係者・講師の人材育成を行う一環で、熱設備に関する講義、省エネ実技研修と模擬省エネ診断演習を実施する。
- (2) 開閉講式挨拶：METI、天然資源・環境・気候変動省、ECCJの代表から挨拶
- (3) 内容：熱設備に関する講義①を1日、省エネ研修設備を用いた実技研修②を2日間、模擬省エネ診断演習③を2日間、計5日間実施。
 - ① 熱設備全般：Boiler、Cogeneration、Heat Pump、Cement Kiln
 - ② 実技研修：(熱) 燃烧炉(日鉄テクノジ-株担当)、Steam Trap(株)TLV担当
(電気)Pump, Compressor(日鉄テクノジ-株担当)
 - ③ 模擬省エネ診断演習：工場・ビル各々のケーススタディにおいて、課題抽出、その課題に対する対応案策定とその定量効果の把握に関するグループワーク・発表
- (4) 評価：実技研修では上記②の設備を稼働させながら、バルブや計測器等の操作・読み取り等のHands-on研修を行い、また模擬演習では来日前に事前課題として課題を抽出し、グループワークでも熱心な議論がなされ、発表時には活発な意見交換が行われました。研修生からは、期待を上回る研修内容だったとの声をいただきました。以上